

事業コード	4-1-①-3
担当部署	農林課
作成者	京野 佑弥
内線	262

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	農業生産額（千円）		実績	1,082,904	978,398	1,171,158	1246446			1,250,000
			達成率	86.63%	78.27%	93.69%	99.72%	0.00%	0.00%	
	説明・出典	果樹・野菜・花卉（農業生産状況調査）								

事務事業名	新庄市果樹研究会事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0016 果樹園芸振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H14 ）		10年以上
根拠法令	記載なし		

事業コード	4-1-①-5
担当部署	農林課
作成者	齊藤 帆高
内線	269

事業の対象	新庄市内において果樹栽培を営む農家
事業の目的 どのような状態にしたいのか	高収益が見込める果樹栽培を安定的に経営することによる、規模拡大と生産者の増加、果樹栽培技術の向上。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	さくらんぼの剪定・防除研修会を開催し、果樹栽培の技術向上を図る。また、事業としてさくらんぼの直売やふるさと納税への参加、地産地消の推進として市内学校給食への提供を実施する。会員相互による技術向上の取り組みや新庄産果樹の産地としての広報や啓発活動を行い、当市果樹生産の振興を図る。
事業の結果	開花時期の降雪による被害や大雨による被害等を受け、出荷がゼロになった園地もあった。降霜被害対策、結実対策等専門的な指導を受けながら、安定した生産、技術向上、収穫量増加のため支援していく。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.19	0.23	0.22	0.22	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	研修会・事業回数（回）		実績	10	6	10	11			20
			達成率	50%	30%	50%	55%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	さくらんぼ販売量（kg）		実績	935	128	349	43			2500
			達成率	37.4%	5.1%	14.0%	1.7%	0	0	
	説明・出典		農林課調べ							

事務事業名	畜産団地整備事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	施設等整備事業		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 令和3年度)		3年未満
根拠法令			

事業コード	4-1-①-8
担当部署	農林課
作成者	日塔 渉
内線	261

事業の対象	畜産経営組織、畜産経営農業者 (乳用牛、繁殖牛、肥育牛生産者に限定)
事業の目的 どのような状態に したいのか	持続的な畜産経営を確立するため、後継者となる畜産経営体を育成する。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか (周知方法)	旧最上中部牧場に畜産団地を整備し、畜産経営に意欲のある農業者を誘致する。
事業の結果	畜産団地への参入を希望する事業者と関係団体（JA、県、畜産の生産部会等）との協議を重ねた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		0	6,945	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0			特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	6,945	0	0			

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.26	0.16	0.16	0	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	畜産経営体誘致数		実績	0	0	0	0			2
			達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新規畜産事業者数		実績	〇	〇	〇	〇			5
			達成率	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	説明・出典	新規に畜産農家台帳に記載された農家数								

事業コード	4-1-①-12
担当部署	農林課
作成者	京野 佑弥
内線	262

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	農業生産額（千円）		実績	4,083,811	3,088,389	2,892,179	3381136			4,200,000
			達成率	97%	74%	69%	81%	0	0	
	説明・出典		米・豆・雑穀類（農業生産状況調査）							

事務事業名	食育・地産地消推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	②	付加価値が高い農産品の生産
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H22)		10年以上
根拠法令	新庄市学校給食食育・地産地消促進事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-②-2
担当部署	農林課
作成者	齊藤 帆高
内線	269

事業の対象	市内小中学校生徒及び保護者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	市内学校給食における地場産農産物の利用を拡大する。地域や農作物に対する理解を深め、地元農産物の価値を再認識し、地域を想う心を育む。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	学校給食の地場産農産物の納入について、納入業者と栄養教諭、学校教育課、農林課で意見交換を行う。納入業者や学校と調整し、学校給食における地産地消の取り組みを推進、支援する。あわせて、栄養教諭等と協力し、地場産農産物のPRを図る。
事業の結果	伝承野菜の定植や収穫を体験し、伝承野菜への理解を深めた。また、地産地消によって郷土の意識を高めることに寄与した。生産者、調理師による講話や体験学習を行った。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,476	673	562	1,355	1,586		学校給食食育・地産地消促進事業費補助金（913）、学校給食米粉パン導入拡大推進事業費補助金（441）
内訳	特定財源	1,476	673	562	1,355	1,586		特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0		学校給食食育・地産地消促進事業費補助金（913）、学校給食米粉パン導入拡大推進事業費補助金（441）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.20	0.14	0.14	0.21	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	学校給食の地場産農産物納入業者との連絡・調整回数（回）		実績	13	13	13	13			20
			達成率	65%	65%	65%	65%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	学校給食での地場産農産物（野菜）の利用率（％）		実績	35	33	32	28			45
			達成率	77.8%	73.3%	71.1%	62.2%	0	0	
	説明・出典	使用野菜全体に占める地場産農作物の割合								

事務事業名	みどりの食料システム戦略推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	②	付加価値が高い農産品の生産
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R4 ）		3年未満
根拠法令			

事業コード	4-1-②-3
担当部署	農林課
作成者	京野 佑弥
内線	262

事業の対象	農林水産活動
事業の目的 どのような状態に したいのか	地域の特色ある農林業や資源を生かした食料システムの構築に向け、モデル事業を展開
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか (周知方法)	地域の生産者、事業者、大学・研究機関等と連携して地域ビジョンを策定し、実践するモデル地区を支援する。
事業の結果	昭和地区をモデル地区とし、有機農業の実践に向けた取り組みを行うことにより、農業者だけでなく消費者との交流ができ有機農業への認知度が高まり興味をもっていただくことができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	0	0	0		
内訳	特定財源	-	-	0	0			特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0			

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.27	0.17	0.15	
会計年度職員	-	-	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	有機農業に取り組む農業者の割合		実績	-	-	2%	3%			3%
			達成率	-	-	67%	100%	0%	0%	
	説明	昭和地区における農業者の割合								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	有機農産物の販売量（t）		実績	-	-	33	38			40
			達成率	-	-	83%	95%	0%	0%	
	説明・出典		昭和地区における販売量							

事務事業名	鳥獣被害防止対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	他	
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R2 ）		3年以上
根拠法令	令和5年度新庄市弾薬購入経費支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-他-1
担当部署	農林課
作成者	京野 佑弥
内線	262

事業の対象	農業者、農地、農作物
事業の目的 どのような状態にしたいのか	被害防止活動によって、鳥獣による農作物への被害が少なくなる。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	地域住民からの目撃情報や被害情報を中心に行う実地調査及びわなの設置のほか、被害防止の一環である花火等を用いた追払いや見回り、捕獲に係るわな購入費用、射撃技術向上を目指した講習会など、「新庄市鳥獣被害防止対策協議会」及び「新庄市鳥獣被害対策実施隊」の各活動に係る費用について支援を行う。(なし)
事業の結果	全国的なクマの出没・被害件数の増加に比例し、当市における件数も例年と比較し大幅に増加した。また、県内(小国町)にて有害捕獲活動中に銃事故が発生したことで、安全管理徹底の意識を再度深めていくことが求められる。農作物における直接的な被害は確認されなかったが、畦畔が崩されたりと間接的な被害は多発していた。また、農作業中にクマ等の大型獣類との遭遇も考えられるため、周囲の安全を確保するためにの追払い活動や捕獲活動を集中的に行うことができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		129	174	190	234	430		市弾薬購入経費支援事業費補助金 (204)
内訳	特定財源	99	144	160	204	400		特定財源の名称（金額）
	一般財源	30	30	30	30	30		県弾薬購入経費支援事業費補助金 (204)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.17	0.19	0.19	0.2	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	活動日数（日）		実績	43	47	25	100			99
			達成率	43%	47%	25%	101%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	農作物にかかる鳥獣被害額 (千円)		実績	20	94	111	0			0
			達成率	0%	0%	0%	100%			
	説明・出典									

事務事業名	市民農園管理運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	他	
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0002 市民農園管理運営事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H2 ）		10年以上
根拠法令	新庄市民農園設置及び管理に関する条例他		

事業コード	4-1-他-3
担当部署	農林課
作成者	京野 佑弥
内線	262

事業の対象	市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業・農作物への理解が増え、地産地消に結びつく。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	農地を持たない市民に、農地（畑）を貸与する。 （広報（お知らせ版））
事業の結果	利用希望者40名に80区画を貸し出した。 利用者の農業への理解が進み、地産地消の拡大に寄与した。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		433	434	424	465	480		市民農園土地借上料（340）
内訳	特定財源	243	264	250	240	240		特定財源の名称（金額）
	一般財源	190	170	174	225	240		市民農園使用料（240）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.19	0.19	0.19	0.25	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	貸与区画数		実績	82	88	84	80			120
			達成率	68%	73%	70%	67%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	利用継続5年以上利用者数		実績	41	41	34	28			60
			達成率	68%	68%	57%	47%	0%	0%	
	説明・出典									

事務事業名	人・農地プラン推進中心経営体モデル事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013 担い手総合支援対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	新庄市人・農地プラン推進中心経営体モデル事業補助金交付要綱		

事業コード	4-2-①-6
担当部署	農林課
作成者	杉澤 直彦
内線	268

事業の対象	実質化された人・農地プランに位置付けられた中心経営体（認定農業者、認定新規就農者）
事業の目的 どのような状態に したいのか	地域農業の担い手の育成・確保を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか （周知方法）	人・農地プランに位置付けられた中心経営体が農地を借り受け、経営規模を拡大するために必要な農業用機械等の導入を予算の範囲内で支援する。 ・補助率1/4（上限100万円）
事業の結果	経営体にとってより有利な国庫補助の採択が多く、本事業の活用には至らなかった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費			0	0	0	4,000		無し
内訳	特定財源		0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源		0	0	0	4,000		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.13	0.13	0.08	0.23	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	実質化された人・農地プランに位置付けられた中心経営体数（延べ数）		実績	65	523	523	523			450
			達成率	14%	116%	116%	116%	0%	0%	
	説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	担い手への農地集積率（％）		実績	79.5	79.6	79.1	78.4			80
			達成率	99%	100%	99%	98%	0%	0%	
	説明・出典		担い手の農地利用集積状況調査より（農林課調べ）							

1. 事務事業の概要

事務事業名	農地利用効率化等支援交付金事業			事業コード	4-2-①-8
第5次総合計画体系	柱	4	産業	担当部署	農林課
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保	作成者	三浦 元広
	小施策	①	担い手の育成・支援	内線	269
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）				
予算区分	06-01-03-0013担い手総合支援対策事業				
事業継続年数	(事業開始年度 R4)				
根拠法令	新庄市農地利用効率化等支援交付金交付要綱				

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	人・農地プランに位置付けられた経営体
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農地を将来にわたり持続的に利用すると見込まれる農業者による農業振興
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	人・農地プランに位置付けられた経営体が、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿に基づき、持続的に農業を行うための生産の効率化に取り組む場合に必要な農業用機械・施設の導入を支援する。 補助率：国3/10以内（上限300万円）
事業の結果	追加募集分もあわせて、計画を上回る採択を得ることができ、将来的な農地の集約化や農地利用の効率化が推進されると期待できる。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	9,786	8,992	0	0	補助金 8,992千円
内訳	特定財源	-	-	9,786	8,992			特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0			令和5年度山形県農地利用効率化等支援事業費補助金 8,992千円

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.13	0.23		
会計年度職員	-	-	0	0		

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	制度申請農業者数（経営体）	実績	-	-	13	13			10
		達成率	-	-	130%	130%	0%	0%	
	説明	(農林課調べ)							
成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	事業採択件数（件）	実績	-	-	5	7			3
		達成率	-	-	167%	233%	0%	0%	
	説明・出典	(農林課調べ)							

1. 事務事業の概要

事務事業名	移住就農推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0020 移住就農推進事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R5) 3年未満		
根拠法令			

事業コード	4-2-①-12
担当部署	農林課
作成者	三宅 大輔
内線	267

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	三大都市圏等に居住し、本市での就農を検討している移住希望者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	本市での就農を目的とし、移住している状態
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	地域おこし協力隊の制度を活用し、移住就農者を募集した。着任した地域おこし協力隊員は農林大学校や本市農家で本格的な就農に向けた研修を受講し、今後の移住就農を希望する人のニーズ把握や本市の受入体制の情報把握及び情報発信を行った。 (市公式ホームページ、ニッポン移住・交流ナビ JOIN)
事業の結果	本市で本格的就農を目指し、1人が移住した。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	-	4,615	5,009	0	報酬（2,517）、職員手当等（185）、共済費（456）、その他（1,457）
内訳	特定財源	-	-	-	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	-	4,615	5,009		

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.13	0.16	
会計年度職員	-	-	-	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	移住就農者の研修受入先農家数（戸）		実績	-	-	-	1			5
			達成率	-	-	-	20%	0%	0%	
	説明	(農林課調べ)								
成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	移住就農者数（人）		実績	-	-	-	1			2
			達成率	-	-	-	50%	0%	0%	
	説明・出典	(農林課調べ)								

事務事業名	生産組合等運営支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	②	多様な農業経営体の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H23 ）		3年以上
根拠法令	新庄市生産組合運営費等補助金交付要綱		

事業コード	4-2-②-1
担当部署	農林課
作成者	石山 達寛
内線	270

事業の対象	大豆、そば、飼料作物の生産を行う集落営農や生産組合
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県農業再生協議会から示された米の生産の目安を達成するとともに、大豆、そば、飼料作物の作付面積の拡大と生産性の向上を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	大豆、そば、飼料作物の生産を行う集落営農、生産組合等の生産活動や運営に要する経費に対し、予算の範囲内で補助 ○生産組合の運営に要する経費の補助・生産組合等の構成員数【1人あたり5,000円】 ・大豆、そば、飼料作物の生産拡大面積【10aあたり5,000円】 ○簡易な排水対策経費の補助【10aあたり5,000円】 ○共同利用機械購入経費の補助【3/10 150万円上限】 (各集落営農及び生産組織へ個別に案内)
事業の結果	組合員の高齢化や離農により、取組面積が減少した。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		6,346	8,439	11,000	5,883	8,500	0	補助金（5,883）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	6,346	8,439	11,000	5,883	8,500	0	

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.33	0.43	0.23	0.28	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	生産組合の構成員数（人）		実績	758	720	713	730			700
			達成率	108%	103%	102%	104%	0%	0%	
	説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	大豆、そば、飼料作物の作付面積（ha）		実績	879	883	857	785			1000
			達成率	88%	88%	86%	79%	0%	0%	
	説明・出典	（農林課調べ）								

事務事業名	水田農業経営確立対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	ソフト事業（義務）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H16)		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-2-③-1
担当部署	農林課
作成者	石山 達寛
内線	270

事業の対象	水田を持っている（耕作している）農業者
事業の目的 どのような状態に したいのか	県農業再生協議会から示された米の生産の目安を達成する。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか （周知方法）	新庄市農業再生協議会（事務局は農林課）が、転作作物や転作面積を確認し、農業者個人や生産組織などの取組形態ごとに、作付面積に応じて国から交付される助成金等の交付申請について指導・取りまとめを行う。 （助成金交付申請対象へは、個別に案内）
事業の結果	生産の目安2,674haに対し、主食用米作付面積は約2,547haとなり、生産の目安を達成することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		10,065	9,704	10,618	10,632	10,632		経営安定対策等推進事業費補助金（9,908）、米需給調整推進費補助金（724）
内訳	特定財源	10,065	9,704	10,618	10,632	10,632		特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0		経営安定対策等推進事業費補助金（9,908）、米需給調整推進費補助金（724）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		1.7	1.8	1.62	1.26	
會計年度職員		0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	県農業再生協議会から示された 米の生産の目安（ha）		実績	2863	2823	2666	2674			—
			達成率	—	—	—	—	—	—	
	説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	米の生産の目安の達成度（％）		実績	100.4	103.4	102.3	104.9			100
			達成率	100%	103%	102%	105%	0%	0%	
	説明・出典		（農林課調べ）							

事務事業名	農業金融対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-06-0003 農業金融対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H7 ）		10年以上
根拠法令	新庄市農業経営基盤強化資金利子助成補助金交付要綱		

事業コード	4-2-③-4
担当部署	農林課
作成者	田宮 真人
内線	267

事業の対象	農業を営む個人・任意団体・法人等
事業の目的 どのような状態に したいのか	農業者が経営改善を図るために借り入れた資金について、借入者または融資機関に対して貸付金の利子補給を行うことにより、償還負担の軽減を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか (周知方法)	金融機関からの書類を受けて、資金の種類によって県または市が審査会に諮り、意見聴取を行う。県・市は金融機関の貸付決定を受けて、個々の資金ごとに利子補給を行う。
事業の結果	農業者の負担を軽減することで、事業の継続に寄与することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		0	374	150	188	0		農業経営基盤強化資金利子助成補助金（115）
内訳	特定財源	0	187	76	64			特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	187	74	124			山形県農業経営基盤強化資金利子助成補助金（58） 山形県災害・経営安定対策資金利子補給補助金（6）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.12	0.13	0.08	0.15	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	利子補給制度資金の借受件数 (件)		実績	3	4	8	4			-
			達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	資金の利子補給件数（件）		実績	25	23	19	15			-
			達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	畑地化促進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	ソフト事業（義務）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R5)		3年未満
根拠法令	畑地化促進事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-2-③-5
担当部署	農林課
作成者	三宅 大輔
内線	267

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	水田を畑地化し、高収益作物や畑作物等の生産に取り組む農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	将来的な食糧事情を見通し、主食用水稻を作付けする田と高収益作物うや畑作物を作付けする畑が本市の農業事情と照らし合わせバランスの取れた状態。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	各土地改良区の受益地内で畑地化された面積に応じ、地権者等が支払わなければならない土地改良区協力金等について、新庄市農業再生協議会（事務局：農林課）が負担し、その支援として補助金を交付し、畑地化の促進した。（農業だより等）
事業の結果	水田から畑地化された面積は19,866aであり、今後の高収益作物等の生産環境が整備された。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	-	79,119	0	0	畑地化促進事業費補助金（79,119）
内訳	特定財源	-	-	-	79,119			特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	-	0			畑地化促進事業費補助金（79,119）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.67	0.61	
会計年度職員	-	-	-	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	畑地化に係る関係各機関との合意形成の機会	実績	-	-	-	2			2
		達成率	-	-	-	100%	0%	0%	
	説明	(農林課調べ)							

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	畑地化面積	実績	-	-	-	19,866			30,000
		達成率	-	-	-	66%	0%	0%	
	説明・出典	(農林課調べ)							

事務事業名	多面的機能支払事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-05-0013 多面的機能支払事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H27 ）		3年以上
根拠法令	新庄市多面的機能支払交付金交付要綱		

事業コード	4-3-①-2
担当部署	農林課
作成者	大山 美桜
内線	263

事業の対象	・担い手以外も含めた多様な主体が参画する地域共同体（地域住民で組織する活動組織、必ず農業者以外の組織等を含む） ・農地や農業用水施設等の資源
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業・農村の有する多面的機能が今後も維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	農地や水資源の果たしている役割や機能（多面的機能）を高める共同活動に対し交付金を交付する。①地域資源の基礎的な保全活動等を行う（農地維持支払交付金）。②施設の軽微な補修、農村環境保全活動等を行う（資源向上支払交付金(共同活動)）。③老朽化が進む施設の補修、更新等を行う（資源向上支払交付金(施設の長寿化)）。（ホームページでの周知）
事業の結果	各地区で活動組織を形成し、その組織が主体性をもって地区の農用地、水路、農道などの維持・保全活動を行う本事業は、遊休農地の解消や地域の連携強化に役立っている。農業従事者の高齢化が進む現状にあって、有効かつ重要な役割を担っている。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		295,016	296,442	299,082	284,484	349,249	0	多面的機能支払交付金(284,427) 需用費(64) 役務費(30)
内訳	特定財源	222,926	222,691	224,218	213,378	261,967		特定財源の名称（金額）
	一般財源	72,090	73,751	74,864	71,106	87,282		山形県多面的機能支払交付金 (284,425)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.68	0.68	0.68	0.79	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	共同活動取り組み組織数（団体）		実績	35	35	35	35			35
			達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	高度保全農用地面積（ha）		実績	4281	4281	4281	4287			4500
			達成率	95%	95%	95%	95%	0%	0%	
	説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業			事業コード	4-3-①-7
第5次総合計画体系	柱	4	産業	担当部署	農林課
	施策	3	農林環境の保全	作成者	渡邊翔哉
	小施策	①	農村環境の整備と保全	内線	266
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）				
予算区分	06-01-05-0009 国営造成施設管理体制整備促進事業費				
事業継続年数	(事業開始年度 H13) 10年以上				
根拠法令	水利施設管理強化事業実施要綱、山形県国営造成施設等管理体制整備促進事業費補助金交付要綱、新庄市国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金交付規				

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	国営造成施設を管理する新庄土地改良区、泉田川土地改良区
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業水利施設が有している、農業生産面以外の多面的機能を発揮する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	施設の維持管理及び防災機能の強化のため、土地改良区に補助を行う。
事業の結果	補助により農業水利施設の維持管理及び防災機能の強化が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		8,872	8,805	8,831	10,262	11,446	0	国営造成施設等管理体制整備促進事業費補助金（10,262）
内訳	特定財源	6,651	6,605	6,624	7,697	8,580		特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,221	2,200	2,207	2,565	2,866		令和5年度山形県国営造成施設等管理体制整備促進事業費補助金（水利施設管理強化）県補助金（7,697）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.1	0.15	0.27	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	管理している国営造成施設数（施設）		実績	10	10	10	10			10
			達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	説明	うち管理体制分10施設								
成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	受益面積（ha）		実績	5,045	5,045	5,045	5,045			5,045
			達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	説明・出典	第3期対策～：新庄地区3,120ha,泉田川地区1,925ha								

事務事業名		農業交流施設維持管理事業	
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	06-01-08-0001 農村環境改善センター管理事業費 06-01-09-0001 昭と活性化センター管理事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 S61)		10年以上
根拠法令	新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例 新庄市昭と活性化センター設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-3-①-11
担当部署	農林課
作成者	杉澤 直彦
内線	268

事業の対象	施設を利用する市民、団体等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業経営の研修及びスポーツ等を通じて地域の連帯感を醸成する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	農業経営の研修及びスポーツ等の場の提供。使用申請のあった場合に施設を開館し、日直・夜間業務で対応する。維持管理は農林課で実施する。 (HP、施設利用調整会議)
事業の結果	農村環境改善センター多目的ホール等については、令和5年度末での廃止に向けて条例改正するとともに、令和6年度の解体に向けた実施設計業務委託を実施した。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		4,003	5,426	5,458	8,751	116,407	0	農村環境改善センター管理事業費（6,645） 昭和活性化センター管理事業費（2,107）
内訳	特定財源	47	235	131	193	40		特定財源の名称（金額）
	一般財源	3,956	5,191	5,327	8,558	116,367		農村環境改善センター使用料（115） 昭和活性化センター使用料（78）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.2	0.16	
会計年度職員	-	0.2	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	施設利用件数（件）		実績	214	640	503	484			400
			達成率	54%	160%	126%	121%	0%	0%	
	説明	改善センター及び活性化センターの利用件数								
成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	農業経営の研修及びスポーツ等への参加人数（人）		実績	1924	6968	5218	5425			9000
			達成率	21%	77%	58%	60%	0%	0%	
	説明・出典	改善センター及び活性化センターの延利用者数								

事業コード	4-3-②-1
担当部署	農林課
作成者	井上勝人
内線	265

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	森林環境譲与税による森林整備実施面積（累計　ha）		実績	0	8.02	14.17	22.35			33.7
			達成率	0%	24%	42%	66%	0%	0%	
	説明・出典									

事務事業名	陣峰市民の森維持管理事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	06-02-01-0003 陣峰市民の森維持管理事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 S58 ）		10年以上
根拠法令	新庄市陣峰市民の森設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-3-②-6
担当部署	農林課
作成者	渡邊 翔哉
内線	266

事業の対象	陣峰市民の森及びその利用者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	陣峰市民の森の各種整備や保全活動を行い、利用者の安全確保及び余暇活動の充実を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	枯損木や支障木の伐採や倒木の除去の樹木の維持管理や駐車場・トイレ・側溝の清掃、広場や遊歩道の草刈りを実施し、利用者が快適に利用できる環境を整備する。(市HPにて適宜周知を図っている。)
事業の結果	4月のオープン時より林道を開放し自動車の乗り入れを可能にした(豪雨の為6月末以降は閉鎖)ことで、利便性が向上し来場者の増加につながった。使用シーズン(4~10月)をとおした管理(遊歩道のパトロール・草刈り・枝払い)を行い、利用者の安全を確保することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		803	897	1,302	958	1,244	0	陣峰市民の森維持管理及び清掃業務委託（479千円）陣峰市民の森枯損木伐倒業務委託（250千円）
内訳	特定財源		0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	803	897	1,302	958	1,244		-

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.35	0.21	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	整備実働日数		実績	184	171	169	172			169
			達成率	109%	101%	100%	102%	0%	0%	
	説明	会計年度職員1名あたりの実働日数の合計×0.65×2（人）								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	整備管理面積（ha）		実績	49.04	49.04	49.04	49.04			49.04
			達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	説明・出典	整備管理面積								

事務事業名	山の幸振興対策支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-02-01-0012 山の幸振興対策支援事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	山形県山の幸振興対策支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-3-②-7
担当部署	農林課
作成者	山口 勝也
内線	266

事業の対象	森林組合・農業協同組合・農業法人等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	やまがた山菜・きのこブランド化戦略に基づく山菜の生産供給体制の構築や労働力の確保などを支援することを通して、中山間地域における農業所得の向上や農地保全、地域の活性化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指し、生産基盤、生産施設及び販売施設の整備を行うために要する経費に対して補助金を交付する。(なし)
事業の結果	特用林産物の資機材の整備に助成を行い、山の幸振興対策事業の推進を図ることができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		2,156	16	33	34	0		山の幸振興対策支援事業費補助金 （34千円）
内訳	特定財源	538	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	180	16	33	34	0		-

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.09	0.09	0.1	0.08	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	実施事業体（団体）		実績	1	1	1	1			1
			達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	補助事業を活用した特用林産物の整備面積		実績	0	0	0	0			-
			達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明・出典									

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業コード	4-4-①-2
担当部署	商工観光課
作成者	柿崎江梨
内線	258

事業の対象	市内中小企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	資金調達の支援を図り中小企業への融資が促進されることで、経営の安定に資することを目的とする。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	中小企業への資金融資の原資となる現金を市内金融機関へ預託する。(市での広報なし)
事業の結果	市内金融機関に融資の原資を預託し、中小企業が市の融資制度を活用することにより経営基盤の安定化と安定的な資金供給が図られた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		862,927	853,796	775,456	700,879	246,854	0	市小売商業振興資金融資制度預託金（40,000） 市地域産業振興資金保証制度預託金（40,000） 市産業立地促進資金保証制度貸付金（620,879）
内訳	特定財源	862,927	853,796	775,456	700,879	246,854		特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0		市小売商業振興資金融資制度預託金元金収入（40,000） 市地域産業振興資金保証制度預託金元金収入（40,000） 市産業立地促進資金保証制度貸付金元金収入（620,879）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.15	0.32	0.22	0.17	
会計年度職員		0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	新規融資利用申請数（社）		実績	8	2	1	0			10
			達成率	80%	20%	10%	0%	0%	0%	
	説明		各金融機関融資状況報告書より							

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	融資利用数（社）		実績	30	24	24	16			40
			達成率	75%	60%	60%	40%	0%	0%	
	説明・出典		各金融機関融資状況報告書より							

事務事業名	各種保証制度保証料補給金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	1	企業の生産性向上
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	一般会計 07-01-02-0004金融対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H1)		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-4-①-3
担当部署	商工観光課
作成者	柿崎 江梨
内線	258

事業の対象	市内中小企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県と市が協調して企業の保証料負担の軽減を図ることで、市内中小企業が融資を受けやすくなる状態を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	市内の中小企業が、山形県商工業振興資金及び市単独融資制度を信用保証協会の保証付きで利用した場合、信用保証協会にその保証料の補給を行う。(市での広報なし)
事業の結果	市が保証料の一部を補給することで、企業の負担が軽減され、安定して融資を受けられる状態になった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		21,726	25,026	24,293	21,880	18,189	0	山形県信用保証協会保証料補給金 (21,880)
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	21,726	25,026	24,293	21,880	18,189		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.15	0.27	0.26	0.17	
会計年度職員		0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	新規保証承諾件数（件）		実績	627	67	78	91			-
			達成率	-	-	-	-			
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	年間保証承諾件数（件）		実績	56	17	21	11			-
			達成率	-	-	-	-			
	説明・出典									

事業コード	4-4-②-1
担当部署	商工観光課
作成者	加藤 正継
内線	254

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新規創業件数（年度）		実績	6	600.00%	6	16			11
			達成率	55%	55%	55%	145%	0%	0%	
	説明・出典	創業支援等事業計画								

事業コード	4-4-他-1
担当部署	商工観光課
作成者	柿崎 江梨
内線	258

事業の対象	本市居住の卓越した技能を有する者。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	市内在住の優れた技能者を選出し表彰することにより、技能者の地位と熟練技術水準の向上を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	「本市産業に従事し、その発展に貢献し、他の模範となる優秀な技能者」を表彰する。(広報及び市内の関係団体への推薦依頼)
事業の結果	本市産業の活性化、技能者の地位と熟練技術水準の向上が図られた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		7	56	0	0	46	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	7	56	0	0	46		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.39	0.28	0.18	0.18	
会計年度職員		0	0	0	0	

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新規受賞者数（人）		実績	1	2	0	0			3
			達成率	33%	67%	0%	0%	0%	0%	
	説明・出典									

事業コード	4-5-①-1
担当部署	商工観光課
作成者	小野 太地
内線	259

事業の対象	市内立地企業で働く外国人労働者等
事業の目的 どのような状態に したいのか	外国人労働者が働きやすい職場環境整備を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか (周知方法)	市内において操業する企業で既に働いている外国人に対して、新庄市や最上地域の理解と愛着を深めてもらうための取組を最上地区雇用対策協議会、人財育成推進・確保対策協議会、新庄商工会議所と連携して実施する。 ・ バスツアーの開催 ・ 外国人労働者向け日本語教室の実施
事業の結果	各事業の参加者へアンケート調査を行ったところ満足度が高かった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		100	100	100	100	100	0	負担金（100）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	100	100	100	100	100	0	

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.37	0.12	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	工業団地における外国人労働者数		実績	57	48	59	62			70
			達成率	81%	69%	84%	89%	0%	0%	
	説明・出典		商工観光課「従業員調査」							

事業コード	4-5-②-2
担当部署	商工観光課
作成者	寺嶋 智哉
内線	259

事業の対象	市内事業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	人財確保のための機会を創出する
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	就労体験とし、学生を一定期間雇用した市内事業者に対し、賃金の一部を奨励金として交付する。トライアル雇用を実施する事業者を、市HPや学生向けチラシに受入先として掲載し周知する。(市HP、市内企業へのチラシ郵送)
事業の結果	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことに伴い、企業のインターンシップをはじめとした学生受入に係る意識が緩和されたことが影響し、実績は平年ベースに持ち直した。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		33	33	0	35	72	0	補助金（35）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	33	33	0	35	72		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.23	0.28	0.32	0.1	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	交付事業者		実績	1	1	0	1			5
			達成率	20%	20%	0%	20%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	体験先への就職者数		実績	1	0	0	0			3
			達成率	33%	0%	0%	0%	0%	0%	
	説明・出典									

事業コード	4-5-②-3
担当部署	商工観光課
作成者	寺嶋 智哉
内線	259

事業の対象	市内事業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	人財確保のための機会を創出する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	学生に対し、就職活動等の際に交通費を支給した市内事業者に、当該費用の一部を奨励金として交付する。交通費を支給する事業者を、市HPや学生向けチラシに掲載し周知する。(市HP)
事業の結果	市内事業者(2社)に対し、採用活動や企業見学に訪れた学生(24名)へ支払った交通費の一部を助成した。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		81	84	98	79	0	0	補助金（79）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	81	84	98	79	0		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.23	0.28	0.32	0	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	交付対象事業者		実績	2	3	4	2			4
			達成率	50%	75%	100%	50%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	交付対象企業からの交通費支給 学生数		実績	32	30	52	24			40
			達成率	80%	75%	130%	60%	0%	0%	
	説明・出典									

事業コード	4-5-②-5
担当部署	商工観光課
作成者	寺嶋 智哉
内線	259

事業の対象	市内企業及び市内の若者、市外に転出した若者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	地元就職率の向上及び若者のUターン促進による定住人口増
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	人材育成推進事業（人材育成研修会 年2回、最先端ものづくりセミナー 年2回） 人材確保対策事業（大学キャリアカフェ、合同就職面談会、山形大学講義への協力） 交流会事業（MOGAMIルーキーズカレッジ、新社会人スタートアップセミナー等） （市HP、市内企業へのチラシ郵送）
事業の結果	それぞれ計画に沿って事業実施することができた。 特に、人材確保対策事業の大学キャリアカフェは新規の取り組みであり、山形大学と東北学院大学で実施し、7つの企業・団体、41名の学生に参加いただいた。企業と学生が気軽に話ができる機会を創出することで、企業においては自社のPRを、学生においてはしごとや就活の悩みの解消に繋げることができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		3,900	2,000	2,000	1,800	1,100	0	人財育成推進・確保対策協議会負担金（Shin-job除く）（1,800）
内訳	特定財源	1,950	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,950	2,000	2,000	1,800	1,100		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.56	0.46	0.42	0.65	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	各種事業参加者（企業）数 （R3～R7累計）		実績	645	778	1512	2769			4500
			達成率	14%	17%	34%	62%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新庄市内の総人口に対する18歳以上35歳未満の人口の割合		実績	14.7	14.18	14.01	13.34			15.2
			達成率	97%	93%	92%	88%	0%	0%	
	説明・出典	新庄市住民基本台帳人口								

事業コード	4-5-③-1
担当部署	商工観光課
作成者	小野 太地
内線	259

事業の対象	誘致対象企業、既立地企業及び地場企業
事業の目的 どのような状態に したいのか	定住人口の増加に向け、若者等に魅力ある雇用の場を創出する。
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか (周知方法)	新庄中核工業団地への優良企業誘致のため、会社訪問やセミナーへの参加等の実施。 地方進出の意向のある企業の情報収集。 既立地企業の業務拡大のための各種支援。
事業の結果	市内2つの工業団地において、分譲率が100%となった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		15,361	33,437	45,160	643	627	0	普通旅費(324)、修繕料(319)
内訳	特定財源	0	0	25,231	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	15,361	33,437	19,929	643	627	0	

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.45	0.45	0.72	0.41	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新規立地企業数（R3～R7累計）		実績	0	0	1	0			3
			達成率	0%	0%	33%	0%	0%	0%	
	説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	エコロジーガーデン利活用推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	7款1項3目 エコロジーガーデン推進事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H14) 10年以上		
根拠法令	新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-6-①-3
担当部署	商工観光課
作成者	柿崎隼毅
内線	249

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	利用者（来訪者）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	利用者を増やし、かつ満足度を高めることにより再訪してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	●歴史文化資源と景観の保全 歴史文化伝承機能の充実・建物や樹木等の適正管理 ●市民が憩い学べる空間づくり 公園機能の整備・施設概要やイベント等の情報発信 ●多面的な利用展開 市民活力の導入・多様な実施主体との連携・市民活動の支援 (市報、チラシ、Webサイト、新聞、テレビ等)
事業の結果	市民の憩いの場所として認知度や利用者数が順調に増加している。また、常に「何かある」状態となるよう民間の力を取り入れながら通年でのイベント開催等のソフト事業が展開できるようになってきている。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		152,415	36,995	35,204	55,395	36,059	0	測量設計業務委託料（17,094） 修繕料（9,349）
内訳	特定財源	56,497	8,530	11,952	15,243	8,166		特定財源の名称（金額）
	一般財源	95,918	28,465	23,252	40,152	27,893		エコロジーガーデン使用料（5,263） エコロジーガーデン雑入（2,981）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		1.35	1.62	1.53	1.24	
会計年度職員		4.00	4.00	4.00	4.00	

5. 評価指標

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	催しの開催回数（回）		実績	14	53	40	113			40
			達成率	35%	133%	100%	283%	0%	0%	
	説明	市主催のほか貸出施設等における民間主催分を含む								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	年間来園者数 （人。まゆの郷利用者を除く）		実績	17,922	24,882	26,427	39,471			50,000
			達成率	35.8%	49.8%	52.9%	78.9%	0.0%	0.0%	
	説明・出典	施設利用者数+店舗利用者数+イベント集客数								

事務事業名	観光地環境美化推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H27 ）		3年以上
根拠法令			

事業コード	4-6-①-6
担当部署	商工観光課
作成者	庄司 光牙
内線	252

事業の対象	市内名所旧跡及び観光地
事業の目的 どのような状態にしたいのか	観光地等の環境整備を実施することにより、観光客・市民が快適に過ごせる観光資源となり、より魅力ある地域への一助となる。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	事業実施者が、その史跡等の観光地や観光施設等において、環境整備・美化・パトロールを行いつつ、観光客の問い合わせに答えるなどの観光案内を行う。
事業の結果	コロナ禍が収束に向かい、イベントの開催や観光客が昨年に比べ多くなり、定期的な環境整備により、観光地の景観の維持や危険箇所の早期発見を行い、観光客や市民に安全に楽しんでもらうことが出来た。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		2,670	2,670	2,670	2,670	2,670		観光地環境美化推進事業業務委託料（2,670）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,670	2,670	2,670	2,670	2,670		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.05	0.05	0.05	0.1	0.1	
会計年度職員	0	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	活動日数		実績	238	222	223	230			200
			達成率	119%	111%	112%	115%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	観光者数（千人）		実績	270	284	400				700
			達成率	39%	41%	57%	0%	0%	0%	
	説明・出典		山形県観光者数調査							

事務事業名	新庄味覚まつり実行委員会運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-2-003 商業振興対策費		
事業継続年数	(事業開始年度 H20)		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-6-①-8
担当部署	商工観光課
作成者	大泉 菜々恵
内線	253

事業の対象	市民および観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄の伝統的または個性的な食や特産品を再確認するとともに、新庄への来訪者に紹介し、本地域の食文化や物産についての理解を求め、地域間交流の促進を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	食やイベント関係の企画出店の調整、広報宣伝、開催当日の来場者警備等に関し、「新庄味覚まつり実行委員会」に負担金を支出し、官民協同の連携を図る。 (市報、市公式HP、各種SNS、ポスター掲示)
事業の結果	「第16回新庄味覚まつり」を無事開催することができ、同日開催のイベントと合わせ、本市の物産の振興およびまちなかの賑わい創出の一助となった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		700	0	400	700	700	0	新庄味覚まつり実行委員会負担金（700）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	700	0	400	700	700		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.54	0.48	0.41	0.43	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	出店者数		実績	25	-	31	42			30
			達成率	83%	-	103%	140%	0%	0%	
	説明	R3は未開催のため数値無し								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	来場者数		実績	25,000	-	20,000	28,000			30,000
			達成率	83%	-	67%	93%	0%	0%	
	説明・出典									

事業コード	4-6-①-9
担当部署	商工観光課
作成者	星川 日咲
内線	249

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	もがみ物産館で買い物した人数		実績	48,225	60,586	79,314	85,529			80,000
			達成率	60.3%	75.7%	99.1%	106.9%	0.0%	0.0%	
	説明・出典	レジ打ちした件数								

事業コード	4-6-①-10
担当部署	商工観光課
作成者	大泉 菜々恵
内線	253

事業の対象	①外国人観光客 ②市内観光事業者
事業の目的 どのような状態に したいのか	①多くの外国人観光客（インバウンド）に訪れてもらう ②誘客のための旅行商品を企画してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で 事業を行ったか （周知方法）	新庄市インバウンド誘致キャンペーン実行委員会への支援を行うことに加え、多様な民間団体・企業との連携を深め、より多くの外国人観光客に当地域を訪れていただけるよう、受入体制整備と情報発信に取り組む。 （繁体字中文版Facebookによる地域情報の発信（実行委員会による委託事業））
事業の結果	多様な団体との連携により外国人観光客の受入数を増加させることができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		3,459	2,409	2,910	2,784	2,520	0	外国人観光客案内体制整備事業委託料（1,184） 新庄市インバウンド誘致キャンペーン実行委員会負担金（1,450） やまがたインバウンド協議会負担金（150）
内訳	特定財源	199	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	3,260	2,409	2,910	2,784	2,520		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.64	0.87	0.92	0.68	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	外国人観光客数		実績	353	648	862	2,241			4,000
			達成率	9%	16%	22%	56%	0%	0%	
	説明・出典	外国人旅行者受入実績調査(立寄・宿泊者の累計/商工観光課調)								

1. 事務事業の概要

事務事業名	城下町新庄周遊促進プロジェクト		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0002 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R4)		3年未満
根拠法令			

事業コード	4-6-①-11
担当部署	商工観光課
作成者	佐藤 栄一
内線	251

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄を訪れる旅行者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	滞在時間の延長、観光消費の拡大、観光満足度の向上
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄まつりをはじめとした 城下町新庄の歴史的資源を活用した観光周遊コンテンツ整備を行う。駅から新庄城址一帯のエリアでの 観光導線を生むことで、まちなかの周遊性を向上させる。地域の歴史を学ぶための教育コンテンツとしての活用も想定したうえで整備を行う。
事業の結果	今年度は最上公園内の標柱と新庄城絵図の修繕を行った。周遊ルートについては、観光コンテンツ・教育コンテンツ両方の視点からの作成を今後行う。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	990	5,536	3,494		印刷製本費（1,690）、委託料（3,845）
内訳	特定財源	-	-	990	5,536	3,474		特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0	20		まつり振興基金（5,535）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.14	0.14	0.14	
会計年度職員	-	-	0	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	標柱修繕本数（累計）	実績	-	-	11	64		-	64
		達成率	-	-	17%	100%	0%	-	
	説明	修繕済／全64基							
成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	標柱スタンプラリー参加者数	実績	-	-	0	0		-	400
		達成率	-	-	0%	0%	0%	-	
	説明・出典								

事業コード	4-6-②-2
担当部署	商工観光課
作成者	加藤 明
内線	251

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	来場者の満足度を向上させるために、本事業と連携する各種イベントの数		実績	6	10	7	8			10
			達成率	60%	100%	70%	80%	0%	0%	
	説明・出典									

事務事業名	最上地域観光協議会関連事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	③	広域的な交流と地域関連の促進
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興対策事業		
事業継続年数	（事業開始年度 H13年 ）		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-6-③-1
担当部署	商工観光課
作成者	阿部璃子
内線	253

事業の対象	(市民・最上地域住民及び)観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	対象を受け入れる環境を整備し、最上地域全体の観光への誘客を促進する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	最上地域の行政・事業者が連携して観光メニューの提供と情報の発信を行う。 (公式HP、各種SNS、新聞広告)
事業の結果	ホームページやSNSによる情報発信を強化したことにより、本市を訪れる国内旅行とインバウンドの観光客数が増加した。最上地域最大のキラコンコンテンツである「新庄まつり」もコロナ以前と同様の形での開催となり、過去の観光客数56万人には及ばないものの38万人の入込数となった。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		2,280	2,290	2,147	2,141	2,189	0	最上地域観光協議会負担金 (2,141)
内訳	特定財源		0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,280	2,290	2,147	2,141	2,189	0	

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.39	0.28	0.28	0.28	0
会計年度職員		0	0	0	0	0

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	協議会幹事及び担当者在議等会議数		実績	12	12	9	9			12
			達成率	100%	100%	75%	75%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	連携して実施することとされた事業数		実績	5	8	13	9			15
			達成率	33%	53%	87%	60%	0%	0%	
	説明・出典									

事務事業名	新庄まつり補助事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	④	新庄まつりの充実と振興
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	山車資材保管施設等基盤整備補助金交付規程,新庄まつり囃子保存基盤整備補助金交付規程		

事業コード	4-6-④-2
担当部署	商工観光課
作成者	佐藤 栄一
内線	251

事業の対象	各町内若連及び囃子若連
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄まつりの中核ともいえる山車・囃子に必要な各種施設・物品の老朽化・破損により、圧迫される各団体の財政状況を緩和する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	山車資材保管施設等基盤整備補助金交付規程・新庄まつり囃子保存基盤整備補助金交付規程により、山車資材保管施設、山車小屋の建設、台車の更新、まつり囃子の演奏楽器購入・修繕等に係る費用を一部補助する。
事業の結果	山車保管庫整備及び囃子演奏器具の修繕への補助を行い、伝統行事である新庄まつりの山車とまつり囃子の継承保存に寄与することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		800	1,511	725	1,526	1,000	0	山車資材保管施設等基盤整備補助金（697）、まつり囃子保存基盤整備補助金（829）
内訳	特定財源		0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	800	1,511	725	1,526	1,000		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
会計年度職員	0	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	要望調査時の希望団体数 (件)		実績	5	6	3	5			6
			達成率	83.3%	100.0%	50.0%	83.3%	0.0%	0.0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	補助団体(町内若連)数(団体)		実績	2	4	3	6			6
			達成率	33.3%	66.7%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	説明・出典									

事務事業名	新庄まつりラッピングトラック事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	④	新庄まつりの充実と振興
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0001 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令			

事業コード	4-6-④-4
担当部署	商工観光課
作成者	佐藤 栄一
内線	251

事業の対象	ラッピングトラックが運行する各地の住民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄まつりラッピングトラック事業を継続することにより、ユネスコブランドを前面に打ち出した新庄まつりのPRを強力に展開し、交流人口の拡大を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	現在5台のラッピングトラックが運行しているが、「ユネスコ無形文化遺産」の字句が入っていない1台を剥離して4台体制とする。また、ラッピングシートの耐久性の観点から1台あたり5年を目途に、順次張り替え作業を行う。
事業の結果	ラッピングトラック広告を維持しながら5台から4台に運行台数を減らしたことにより保守等にかかるコストを軽減出来た。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,047	1,089	1,100	1,355	200	0	ラッピングトラック原状回復業務委託料（1,265）
内訳	特定財源		0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,047	1,089	1,100	1,265	200		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
会計年度職員	0	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	ラッピングトラック台数		実績	6	5	4	3			4
			達成率	150%	125%	100%	75%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新庄まつり人出数（千人）		実績	0	0	330	380			1,000
			達成率	0%	0%	33%	38%	0%	0%	
	説明・出典									